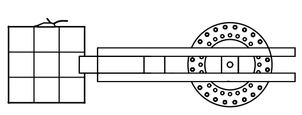
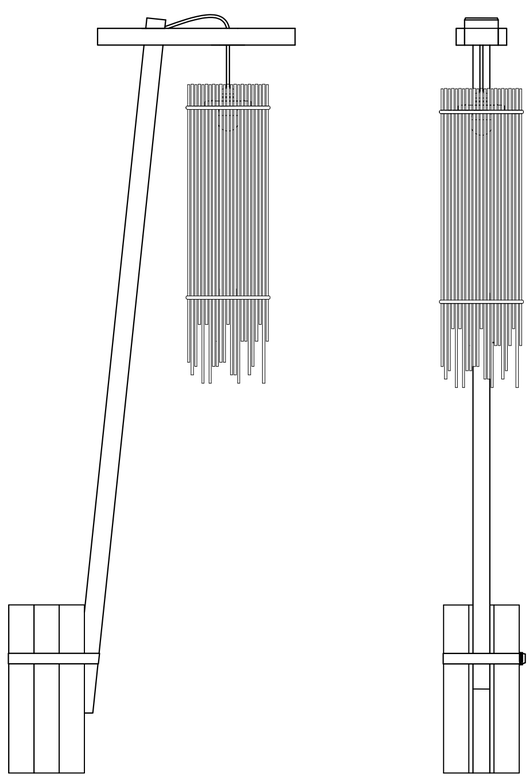
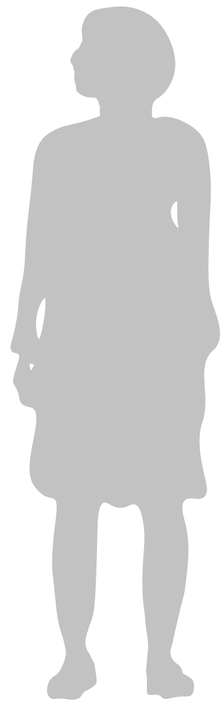
concept

サステナブルな物づくりを念頭に、活用が望まれる国産材料を使用したスタンドライトのデザイン。
岡山県真庭市では、蒜山高原の景観保持のためススキ（茅材）の活用が模索されている。また里山雑木の代表であるコナラの活用も期待されている。
木目が特徴的で比重がとても重く加工が困難なコナラと、節など自然の風合いに魅力がある軽量な茅の特徴を最大限に生かし、それらをスタンドライトの重りとシェードの部分に活用した。

matoi







SIZE

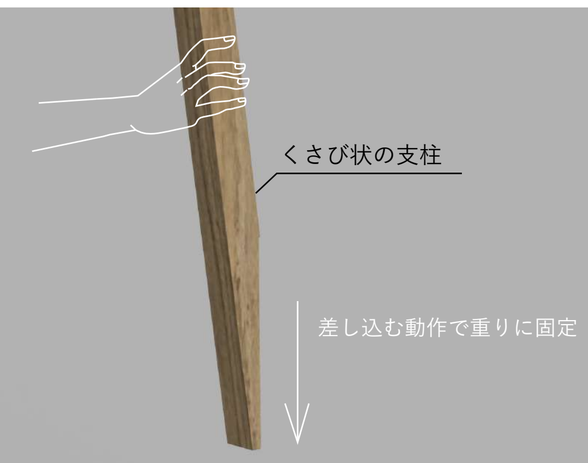
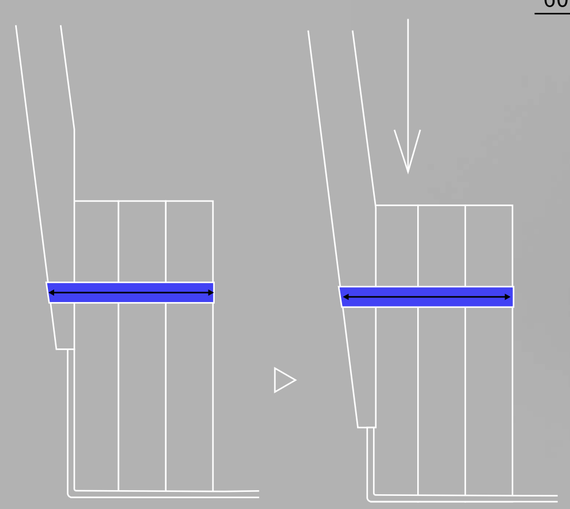
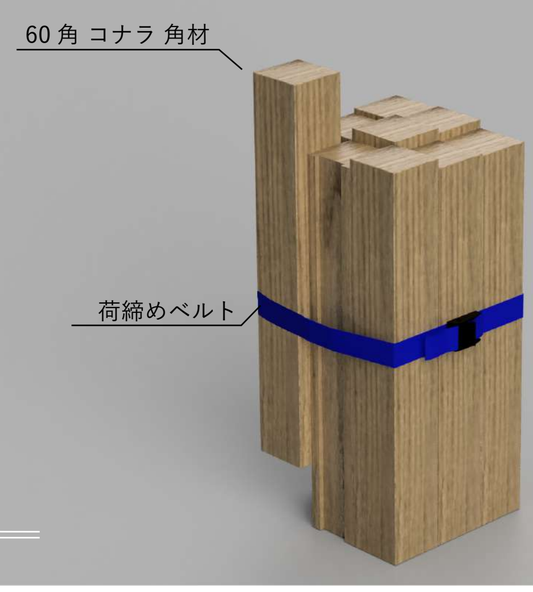
W682 D180 H1797

MATERIAL

コナラ、ススキ、MDF

PROCESSING

オイルフィニッシュ

コナラの活用

変形が激しく重硬で加工が困難なコナラは荷締めベルトでまとめ、くさび状の支柱を差し込む。差し込んでいくに従って末端と上部の直径差で荷締めベルトがよりきつく締まり、支柱が安定する。